

# 法蔵 343号 2月号

## ・順信寺の予定

- 2月12日午後0時より 「定例法話会」 布教使さんは、南富良野町恵光寺の酒井智師です。コロナウイルス感染防止対策をしながら行って参りたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。
- 2月28日午後1時より 「親鸞聖人ご命日のお参り」
- 3月12日午後0時より 「定例法話会」 布教使さんは、遠軽町生田原 法願寺の埴山和成師です。御一緒に仏さまのお話を聞かさせていただきます。お参りをして、美味しいカレーライスを食べ、お話を聞かせていただきます。2時30分に終了する予定です。
- 3月21日午後1時より 「春彼岸会法要」 今年は21日にお参りをさせていただきます。御理解御協力よろしくお願ひ申し上げます。

◎1月23日に以下の方々によりまして、雪降ろしが行われました。重労働、お疲れ様でした。

(順不同) 匹田浩志さん、松本彰さん、西澤昭雄さん、星福三さん、平野英男さん、吉川正さん、黒田礼二郎さん、森永寿さん、桃山光弘さん、左古荘輝さん、石田国男さん、福田守さん、駒形直樹さん、西澤潤さん、西澤昌司さん、西澤哲也さん、安田義隆さん、遠藤正勝さん、滝口智也さん、北本雄一さん、長屋広道さん、禿覚英、禿朋隆、です。有り難うございました。



・今年の新年会は残念ながら中止となってしまいました、ワイワイと楽しい新年会は、来年のお楽しみに取っておきましょう。

新型コロナウイルス問題はまだまだ続くそうです。順信寺も工夫し、頭を捻って、感染対策をして「念仏のおいわれを聞く」という仏法聴聞を続けてまいりたいと思います。何かと御指導よろしくお願ひ申し上げます。

「やったあってハイタッチ。喜び合っるのがっちり握手。励まし合うために肩をたたき合う。励ます気持ちを込めて背中をどつく。辛い仲間がいたら背中にそっと手を置いて。困っていたら声をかけ手を引いてあげる。何もしないけれど体温を感じる距離でそばにいてあげる。歩調を合わせて一緒に歩く。うんうんと何でも聞いて、受け止める。……」

(福場誠二「しづく11 アイがたりない」より)

～この新型コロナウイルス関連の問題の一つは人にある「自分の身が可愛い、生き残りたい」という気持ちが大きく問題していると思います。この気持ちは当たり前なのですが、罹ってしまった人もそうでない人も、誰も皆持っているということを忘れてはならないと思います。ですから上記のようなことが出来にくい状況です。しかし、相手の気持ちを想像する心だけは失ってはならないと思います。人は間柄を生きる人間という生きものなのですから。

「賀正 あせらず ひたむきに 仲よく共に 生きよう！」 (今年頂いた年賀状より)

～このような(新型コロナウイルス問題)状況だからこそ、助け合って、励まし合って生きたいものです。

「学ぶことの少ない者は、牛のように老いていく。

肉ばかり増えて、智慧は増えない。」 (ダンマダ「法句経」)

～この新型コロナウイルス問題から何を学ばなければならないのだろうか。何を教えられているのだろうか。色々な方法を使って、確かめ合い、良く話し合わなければならないと思います。

「悲喜の涙

アタフタと また一年が夢か幻

この夢幻のうちに流される 悲喜の涙の尊さよ

人間とは その涙の容れものでした。」 (「清風」No.582より)

「人間は みんな一人一人 その大変さを自分で背負って

生きる以外は ないのです」 (東井義雄)

～上の二つの言葉は人が生きるということはどういうことかということを語っているように思います。今年もこの一年の間には色々なことがあると思います。その多くは困ったこと気分の重くなることだと思います。しかし、「<sup>しよぎようむじょう</sup>諸行無常」なのですから、決めてしまわず、投げ出さず・・・それこそ、「くらべず、あせらず、あきらめず」、生きてまいりましょう。

・忠峰コーナー

「サンピラーの 輝く里は 冷え切って」 「雪かきを 半分残し 暖をとる」